

「宮崎県フッ化物洗口マニュアル（第2版）」への追加(案)について

1 経緯

- 令和2年3月 「宮崎県フッ化物洗口マニュアル」作成
- 令和3年4月 「新型コロナウイルス感染予防を踏まえてのフッ化物洗口実施手順」を追加
- 令和4年1月 フッ化物洗口剤等の種類に、オラブリス洗口液 0.2%（ポーションタイプ）を追加
- 令和6年3月 「宮崎県フッ化物洗口マニュアル」第2版作成

2 追加の理由

近年、市場ではフッ化物洗口液の種類が増えてきており、働き方改革が推進される中、フッ化物洗口の実施にかかる職員の負担を軽減するため、新たに実施する学校は洗口液タイプを使用するところが増えてきている。このため洗口液タイプのフッ化物洗口についての実施手順を追加するもの。

3 対応

市町村、保健所、県教育委員会、県歯科医師会、県歯科衛生士会、県薬剤師会に情報提供する。

県HP（宮崎県フッ化物洗口マニュアルのページ）に修正ページを掲載する。

4 追加内容

- (1) 洗口液タイプのフッ化物洗口の実実施手順例
- (2) 薬剤管理簿
- (3) 薬剤管理簿記載例
- (4) フッ化物洗口のQ&A

〈洗口液タイプ〉フッ化物洗口の実施手順（例）

1 薬剤の管理



① 子どもの手の届かない場所に保管します。



② 管理簿に取り出しの記録をします。

2 配布



③ 洗口液を各学級に分配します。



④ 各学級で1名分（10ml）ずつ紙コップ等に分注します。

※ポンプ式の場合は、はじめに洗口液が出るまで数回空押しをします。

3 洗口



⑤ 30秒から1分程度ブクブクとうがいをし、口中に行きわたらせます。

※やや下向きにうがいをするとうがいがよく、誤飲しにくくなります。

※飛沫が飛ばないように、口は閉じて洗口を行います。



⑥ うがいが終わったら、紙コップに口を近づけ洗口液が飛び散らないようにできるだけ低い位置で静かに吐き出します（感染症流行時は、座位で行う場合、コップにティッシュを入れます）

※うがいが終わったら30分は飲食をしないようにします。

4 片付け



⑦ 全量を使い切らなかったボトルは、保管場所に戻します。管理簿に残量を記録します。

〈洗口液タイプ〉 薬剤管理簿

1回分の量 オラブリス洗口液 ml × 本

施設名 _____ 学校

管理者 _____

_____ 年度

月 日	受入本数	受渡者	保管場所からの 持ち出し本数	残っている本数	取扱者	備考
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		(使用期限) 年 月 日
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		
/			未使用 本 使用中 本	未使用 本 使用中 本		

〈洗口液タイプ〉 薬剤管理簿（記載例）

1回分の量 オラブリス洗口液 500ml × 6本

施設名 ○○学校

管理者 ○○○○

____年度 ※（例）50本ある状態で開始し、全部で6クラスある場合

月日	受入本数	受渡者	保管場所からの 持ち出し本数	残っている本数	取扱者	備考
○/○	30本				(氏名) ○○	(使用期限) 令和○年○月○日
○/○	20本	(氏名) ○○	未使用 使用中			(使用期限) 令和○年○月○日
○/○			未使用 6本 使用中 6本	未使用 44本 使用中 6本	(氏名) ○○	練習
○/○			未使用 6本 使用中 6本	未使用 38本 使用中 6本	(氏名) ○○	洗口開始
○/○			未使用 6本 使用中 6本	未使用 32本 使用中 6本	(氏名) ○○	
○/○			未使用 6本 使用中 6本	未使用 26本 使用中 6本	(氏名) ○○	
○/○	○本	(氏名) ○○			(氏名) ○○	(使用期限) 令和○年○月○日
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						

← 年度始めに期始在庫を記入する

→ 受け入れた際に記載する

↑ 前回使用中の本数と新しく開けた本数を記載する

↑ 受け入れた際に記載する



洗口液タイプのフッ化物洗口 Q&A

Q1：フッ化物洗口液（ボトルタイプ）を使用してフッ化物洗口を実施し、全量を使い切らなかった場合の保管について、どのようにすればいいのでしょうか？

A1：室温（1-30℃）で問題ありませんが、子どもの手の届かない場所に保管してください。ただし、夏場などで30℃を超える場合などは、冷蔵庫で保管するなど工夫してください。

Q2：保管する場合、キャップの状態での保管するのでしょうか または、専用ポンプのままでのよいのでしょうか？

A2：専用ポンプのままでも保管可能です。容器を横にしたり、温度上昇により、容器内の空気が膨張すると、洗口液が押し出される場合がありますのでご注意ください。

Q3：専用ポンプは、使用后、洗浄が必要でしょうか？

A3：ボトル交換後、都度の洗浄は必要ありませんが、夏休みや冬休み前などに洗浄してください。

洗浄方法 ①ポンプの外側を水で洗い流してください。

②コップ等に水道水を取り、ポンプを3回以上プッシュしてポンプの内部を洗浄してください。

③ポンプの洗浄が終わりましたら、内部の水が出なくなるまでプッシュしてください。また、吐出口を下にして傾け、内部の水を出してください。

④水をよく切った後、よく乾燥させてください。

Q4：専用ポンプは、乾燥機の高温に耐えられる製品でしょうか？

A4：専用ポンプの耐熱温度のデータはありませんが、使用している材質の一般的な耐熱温度から専用ポンプの耐熱温度は70℃と考えられています。

Q5：歯科医師の指示書は必ず必要か？

A5：用法用量等の歯科医師の指示が必要です。実施内容を明確にしておくためにも歯科医師の指示を指示書として文書で管理してください。